

迎春

えきまえ

新年を迎え、完成まで残り3か月。「えきまえ」の工事は、「屋根」や「コンクリート舗装」、「植栽」、「水景施設」、「照明」、「ベンチ」など複数の工事が同時に行われており、まさに最盛期を迎えています。

今回は「えきまえ」の景観において主を担う、「植栽」と「コンクリート舗装」について紹介します。

残り数か月で変わりゆく「えきまえ」にご期待ください。

周辺エリアに“つながる”「緑」

Plan

くまもとの陸の玄関口として、森の都にふさわしく豊かな「緑」が感じられる空間とするため、白川口駅前広場には豊富な種類の「植栽」を色鮮やかに配置します。この「緑」は電車通り沿いの街路樹と一体的に“つながる”よう配置しており、「木立の景」と位置付けて、市電の車窓からもうつろいゆく豊かな「緑」が感じられる空間の創出をコンセプトとしています。

また、白川口駅前広場では、(一社)熊本市造園建設業協会より、成木を提供いただき、大きいものでは高さ15m程になるように植樹し、豊富な「緑」を演出できるようにします。

また、植樹の際は、傾きや倒木を防止するための支柱を地下に埋め込む木杭式地下支柱とすることで、すっきりとした景観を創出するよう計画しています。

「植栽」は東洋・川尻・トータル・熊宮 JV が工事を担っており、11月から順次植樹を始めています。鮮やかにうつろう景色をお楽しみください。

表情が“つながる”コンクリート舗装

Plan

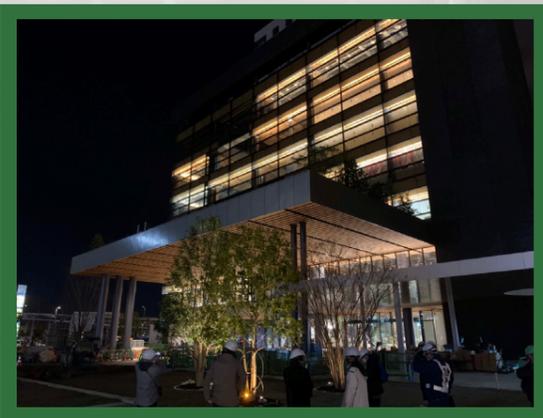
白川口駅前広場の舗装は、歩道・車道共に、上質で耐久性に優れた素材を使用しています。また、広場全体の雰囲気調和するように全体を白っぽい色で統一し、隣接する道路の一部や JR 熊本駅ビルの外構まで、“えきまえ”の雰囲気が“つながる”よう計画しています。オープンスペースを含む歩道部では、白御影石の表情が浮かび上がるように仕上げた「透水性コンクリート舗装」により、水はけが良く、滑りにくい仕様となっています。また、車道部はバスやトラックなどの大型車両にも強い「半たわみ性舗装」により長持ちで管理がしやすい仕様となっています。

舗装の工事は施工エリアを分割し、むつみ・田・竜田 JV 及び江崎道路・竹田産業・ロードサポート JV が担っており、10月から順次舗装の打設を行っています。

もっと知りたい・スマホで見たい方はホームページへ!!



Photo



植栽のライトアップ状況



樹木の地下支柱設置状況

Photo



コンクリート舗装打設の状況